

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：創成工学専攻デザインコース

学年：1年

留学先大学：Köln International School of Design

現在の学期：Summer semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	12:00-14:00 Re-design (4月～5月) 14:00-17:00 minimum3 (6月～7月)
水	13:00-14:30 Desktop video for international students
木	12:00-14:00 Re-design (4月～5月) 14:00-17:00 minimum3 (6月～7月)
金	8:30-13:00 Gute Stube
土・日	

履修科目や近況について

【Life】

新学期のはじまり

ケルンも4月になると、だいぶ暖かくなりセーターがいらなくなってくる。3月末にはwelcome dayというイベントが開催され、そこで留学生同士の顔合わせと学校の紹介が行われる。また、新学期はwhatsappグループでメンバーを定めない遊びの誘いが頻繁あるため、留学生同士で遊びに行くことも多い。私もまずは知り合いを増やそうと毎日のように出かけていたが、友達が増えるいい機会になった。

ケルンでの生活

レストランで食事をするのが高いので、自炊と学食 (Mensa) がメインで、友達と外出するときはドゥナー (Döner) やピザ、ハンバーガーなどのカジュアルフードを食べることが多い。洗剤などの日用品は比較的安価で節約をすれば日本での生活費とあまり変わらないと思われる。

放課後の過ごし方

放課後は友達とライン川に行って黄昏たり、Uni Sports という無料で参加できるクラスに行ってヨガやピラティスをしたりしていた。運動習慣ができ、何も考えない時間にもなるので個人的にこのような放課後のクラスはおすすめだ。

長い日照時間

4月になると日が一気にのび、21時ごろまで明るくなる。夜も外でゆったりと過ごせるのでとてもいい季節なのだが、生活リズムが狂いやすい。まだ夕方かと思ったら夜9時ごろだったりする。私はメラトニンのサプリを飲むなどして睡眠の質を保つ対策をしていた。

最強ツール Deutschland-Ticket

KISD の学生はドイツ国内の公共交通機関が乗り放題の Deutschland-Ticket をもらうことができるため、お出かけがしやすい。休日に快速電車でドイツ、ベルギー、オランダの国境近くにある Aachen に出かけた。

【Study】

Re-design(middle term project)

Middle term project では Re-design の授業を受講した。この授業ではペアで自分の好きなテーマを調査し、改善したデザインを提案する。私はケルンの街にある公共ゴミ箱をテーマに取り組んだ。まずはドイツのゴミ処理の文化や価値観を調査し、日本との違いが沢山あって非常に興味深かった。また、フィールドワークとして市内中央のゴミ箱を一つ一つ観察したり、ごみ収集のスタッフの方にゲリラ的にインタビューをしたり、実際に街に出て調査をすることで得られる発見が多かった。最終的にはケルンの公共ゴミ箱で分別がなされる将来像に向けて、その導入となるサービスを提案した。ペアワークのバディが途中でいなくなったり、苦勞することも多かったが最後までやり抜くことができたのでよかった。また、英語の授業のはずがドイツ語で進行された際は、思い切ってお願いをし、英語に変えてもらったりもした。黙っていても気を遣ってもらえる訳ではないので、自分の希望がある場合は声をあげる必要があることも学んだ。

Gute Stube(working group)

Gute Stube は KISD の憩いの場の中心とも言えるカフェで働いていた。私は金曜日の朝シフトでドイツの正規学生と一緒に働いた。今までコーヒーを飲まないで生きてきたの

で、カフェで働くのは非常に新鮮な経験になった。そして、結果的にコーヒーを飲むことも、作ることも大好きになった。また、バディがドイツ語で友達を会話する様子を見て、ドイツ語学習へのモチベーションも上がったように感じる。

Desktop Video for International Students (course)

この授業では After Effects の使い方について体系的に学んでいく。毎週新しいスキルを学べるので、今後動画を制作する際に参考になると思う。先生はとても親切で、授業中置いていかれそうになったらいつでも質問ができる。今までは基本操作やマスク、透過について学んだ。

【Others】

寮の引越し

4月からは9人フラットの寮に住んでいたが、5月に引っ越すことになった。理由としては、ルームメイトの1人が体を触ってこようとしたりして、あまり安全な環境ではないと感じだからだ。日本のルームシェアのイメージとは違い、こちらは案外あっさりとした関係のことも多いそうだ。入寮したばかりの頃は仲良くなろうと積極的に話しかけていたが、むやみにフレンドリーになると時には危険なのかもしれない。寮はすぐに引っ越せるものではないので、数週間はそのまま住む必要がある。また、引っ越すことで住民登録や滞在許可の手続きが遅れてしまったので痛手であった。

タンデムコミュニティ

ドイツにきた際に "Start With a Friend" というタンデムコミュニティに参加した。このコミュニティはケルンの地元住民と移民の交流を目的としたもので、ボランティアによって運営されている。私はスタッフの方と面談をして、いくつかパーソナリティについての質問をされ、数週間後にタンデムパートナーとマッチングしてもらった。私はケルンに住む女の子とマッチングし、映画館や公園に出かけた。大学外の友達と関わるのは新鮮なのでとても良い経験になった。

イフタールイベント

Start With a Friend がイスラム教の断食明けに食べるイフタールのイベントを開催していたため参加した。参加者は持ち寄りで夕食を持って集まる。私はテイクアウトのピザを持って参加したが、他の参加者は手作りの料理を持ってきていた。どの料理も初めて見るものばかりだったが、非常に美味しかった。また、私は完全に部外者だったが、みんながフレンドリーに話しかけてくれて、あたたかい時間を過ごせた。ケルンに来る前は勝手に、ドイツでは移民を歓迎していない人も多いと思っていたが、このイベントではイスラム教徒もキリスト教徒も、ドイツ人も移民も一緒にイフタールを楽しんでいて、このような大らかな側面も見る事ができた。

弾丸アムステルダム旅行 友人と二日前に計画し、日帰りでアムステルダムを観光してき

た。バタバタすることも多かったが、このような突発的な旅行は初めてだったので楽しい思い出になった。Flixbus を使うとヨーロッパ内を格安で移動できるので、また他の国にも訪れてみたい。



ホーエンツォレルン橋から見る大聖堂



フランクイボールを観戦



Aachen の展望台



大聖堂周辺のゴミ箱の調査



提案したサービスのアプリケーション



ビュッフェ形式でごはんを取っていく



アムステルダム運河、あいにくのお天気